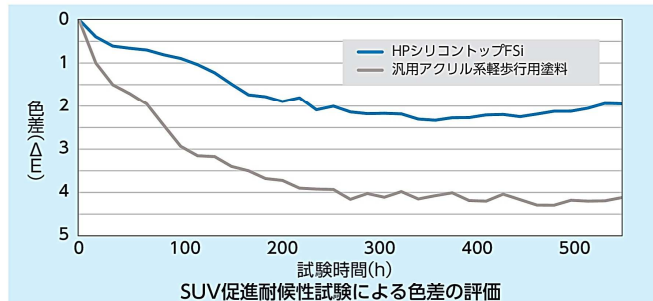


クールトップセラFSi/HPシリコントップFSi

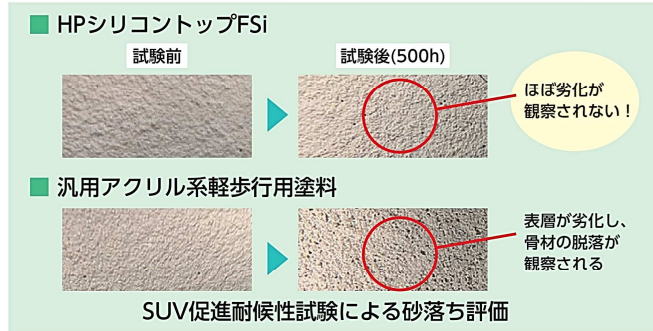
特長

■高耐候性・高耐久性

自己架橋形アクリルシリコン樹脂を使用した耐候性、耐久性に優れた設計です。更に、UVA・HALS配合により塗膜の劣化を抑制し防水層を長期間保護します。



耐候性、耐久性に優れた塗膜は経年劣化により生じる塗膜からの骨材脱落を抑えることで側溝やドレン詰まりを抑制します。



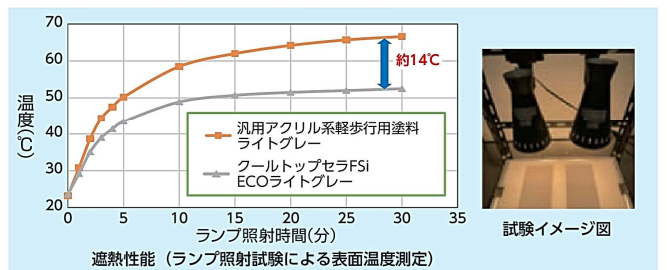
■各種防水層との適合性

加硫ゴムシート防水、改質アスファルト防水やポリマーセメント系塗膜防水への直接塗装が可能です。アスファルト防水に含まれるタール成分のブリードを抑制します。



■高い遮熱性(クールトップセラFSi・HPシリコントップFSi(GSスカイグレー))

太陽光の赤外線効果を効果的に反射することで、防水層表面の温度上昇を抑制します。防水層の熱劣化やシート防水における接合部の口開きを抑制します。特にクールトップセラFSiは特殊顔料を使用することにより、高い遮熱効果を発揮します。



■高い安全性

シックハウス症候群の原因とされる有害物質(ホルムアルデヒド・環境ホルモン)を一切含んでいません。

【標準施工・改修仕様】

| 工程 | ゴムシート | ゴムアシート | 砂付アスファルト | ウレタン防水層 | ポリマーセメント系塗膜防水材 |
|--------|---|--------|----------|--|----------------|
| 1 下地処理 | ほこり、土砂、油污などを除去し十分乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下) | | | | |
| 2 下塗り | 不要 | 不要 | 不要 | アスファルトシーラー 0.1~0.2kg/m ² ×1回 | 不要 |
| 3 上塗り | クールトップセラFSi / HPシリコントップFSi 塗分量: 0.4~0.6kg/m ² ×2回 希釈: 清水0~3% 塗装間隔: 3時間以上(23°C) 最終養生: 24時間以上 塗装用具: はけ、ローラー、スプレー(モルタルガン、リシンガン等) | | | | |

*下塗りとして水性アスファルトシーラーも使用できます。*塩ビシート防水、FRP防水の場合は別途お問い合わせください。

【用途】各種建築物の防水層の保護

【適用下地】○各種シート防水(加硫ゴムシート、ゴムアシート、砂付アスファルトシートなど)

○各種塗膜防水(ウレタン塗膜防水、ポリマーセメント系塗膜防水など)

*カラーゴムシート、タールウレタンへは塗装できません。

【商品体系】

| 商品名 | 系統 | 容量 | 色相 |
|--------------|----|------|---------------------------------------|
| クールトップセラFSi | 水系 | 18Kg | ホワイト※ ECOライトグレー※ ECOグリーン※ |
| HPシリコントップFSi | | | グレー シルバーグレー ライトグレー GSスカイグレー※ |

※遮熱色

■塗装上の注意事項

- 「カラーゴムシート」は付着しないため塗装できません。「タールウレタン防水材」はタール成分を抑制できない場合がありますので塗装できません。
- 気温5°C以下、湿度85%以上及び結露が懸念される場合は、塗装を避けてください。
- 下地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 使用前に十分攪拌し、均一にしてから塗装してください。攪拌は、出来るだけ泡が混入しないように十分注意してください。
- クールトップセラFSi、HPシリコントップFSiは重質の骨材が配合されていますので、やむをえず水で希釈(清水で3%以下)する場合は速やかに使い切ってください。骨材が沉降しハードケキになる場合があります。
- アスファルトシーラーに使用した塗装用具は作業後速やかにラッカーシンナー等で洗浄してください。缶内への湿気の混入を避け開栓後は速やかに使い切ってください。
- 塗料は一度に厚く塗りすぎると乾燥過程でクラックが発生する場合がありますので過度の厚塗りは避けてください。
- 塗膜乾燥過程の初期段階に降雨があった場合、塗膜から界面活性剤が溶出し、雨水が集中する箇所から発生する可能性があります。雨水が河川に流入する恐れがある場合、地域の排水基準に則した管理を行ってください。
- 屋上の雨水がドレンに流れず、直接外壁に流れる構造の場合には、劣化した塗膜が外壁を汚染する可能性があるため、外壁の色に近い色相もしくは目立ちにくい色相で塗装してください。
- 塗料の取り扱い時は、十分に換気を行ってください。
- 各工程の塗装間隔及び最終養生は、所定の時間を厳守してください。

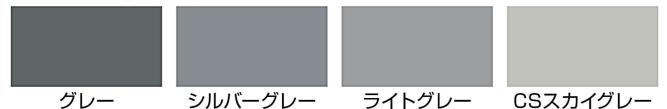
【色相】

(注)印刷色見本ですので、現物とは若干の色差があります。また、現物の仕上がりは細骨材入りです。

クールトップセラFSi



HPシリコントップFSi



- 仕様の数値は標準値です。下地の状態、施工条件などにより、多少異なることがあります。
- このカタログに記載以外の下地や仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがあります。使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。

■取扱い上の注意事項

【アスファルトシーラー】

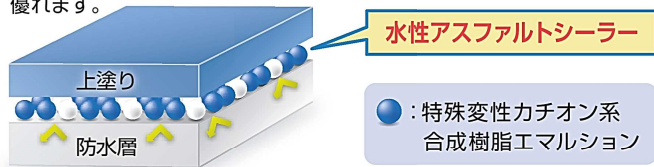
- アスファルトシーラーは引火性の液体ですので、火気のあるところで使用しないでください。
 - 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますので、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう、保護具を着用してください。
 - 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けてください。
 - 取扱い中は、皮膚に触れないようし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
 - 有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・スリ巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
 - 臭いは、食品・飲食器・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざけるまたは養生するなど、十分に注意してください。
 - 容器から取り出すときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
 - その他取扱い上の注意事項は裏面を参照願います。
- 【クールトップセラFSi・HPシリコントップFSi】
- 裏面の取扱い上の注意事項を参照願います。

水性アスファルトシーラー

特長

優れたブリード抑制効果

自己架橋形カチオン系ナノエマルジョンを使用することによりブリード性に優れます。



《塩ビシート防水上の耐ブリード性評価》



《アスファルト防水上の耐ブリード性評価》

アスファルト防水に含まれるタール成分のブリードを抑制します。タール成分のブリードによる塗膜の変色を軽減します。



【標準施工・改修仕様】

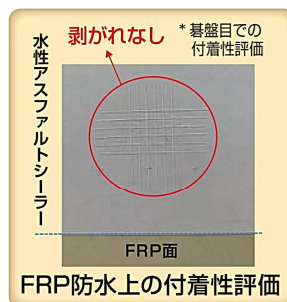
| 工程 | ゴムシート | ゴムアスシート | 砂付アスファルト | 塩ビシート | ウレタン防水層 | ポリマーセメント系塗膜防水材 |
|--------|--|---------|----------|-------|---------|----------------|
| 1 下地処理 | ほこり、土砂、油污れなどを除去し、十分乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下) | | | | | |
| 2 下塗り | 水性アスファルトシーラー 塗付量: 0.12~0.17kg/m ² ×1回 (塩ビシートの場合: 0.12~0.17kg/m ² ×2回)、(砂付アスファルトシートの場合: 0.20~0.30kg/m ² ×1回) 無希釈 塗装間隔: 3時間以上(23℃) 塗装用具: はけ、ローラー、スプレー | | | | | |
| 3 上塗り | 各種防水層保護用塗料 ※詳細はウォーターバリアシリーズ、HPToppNEWシリーズのカタログ参照 | | | | | |

注)FRP防水の塗替えの場合は「目粗し、アセトン拭き」の後に試し塗りをを行い付着性を十分確認してから塗装してください。(水性アスファルトシーラーの塗付量: 0.12~0.17kg/m²×1回)

■塗装上の注意事項

- カラーゴムシートには付着しないため塗装できません。「タールウレタン防水材」はタール成分を抑制できない場合がありますので塗装できません。
- 気温5℃以下、湿度85%以上及び結露が懸念される場合は、塗装を避けてください。
- 下地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 水性アスファルトシーラーはカチオン系ですので、一般塗料と絶対に混ぜないでください。また、一般水系塗料に用いたはけ、ローラーなどの塗装器具を共用されますと固まる場合がありますので避けてください。
- 使用前に十分攪拌し、均一にしてから塗装してください。
- 塗料を一度に厚塗りすると、ふくれ、ひび割れが生じることがありますので避けてください。
- 塗膜乾燥過程の初期段階に降雨があった場合、塗膜から界面活性剤が溶出し、雨水が集中する箇所で泡が発生する可能性があります。雨水が河川に流入する恐れがある場合、地域の排水基準に則した管理を行ってください。
- 屋上の雨水がドレンに流れず、直接外壁に流れる構造の場合には、劣化した塗膜粉が外壁を汚染する可能性があるため、防水層上塗材は外壁の色に近い色もしくは目立ちにくい色相で塗装してください。
- 塗料の取扱い時は、十分に換気を行ってください。
- 各工程の塗装間隔及び最終養生は、所定の時間を厳守してください。
- 仕様の数値は標準値です。下地の状態、施工条件などにより、多少異なることがあります。
- このカタログに記載以外の下地や仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがあります。使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。

■各種防水層との適合性



カチオン系ナノエマルジョンを使用することにより各種防水層への付着性は抜群です。塩ビシートや改質アスファルトシートなどのアスファルト防水はもちろん、ウレタン塗膜防水材やポリマーセメント系塗膜防水材のプライマーとしても最適です。下地調整することでFRP防水の塗替えにも使用できます。ホワイトプライマーのため、防水層の隠れ性が向上するとともに上塗りとなる保護塗料の仕上がり向上にも貢献します。

■水性1液タイプ

1液タイプで取り扱いやすく2液タイプのような使用前の計量や割合は不要です。水性1液のプライマーと水系上塗り塗料との組み合わせによる“オール水性仕様”が可能です。

■高い安全性

シックハウス症候群の原因とされる有害な物質(ホルムアルデヒド・環境ホルモン)を一切含んでいません。

- 【用途】建築物の各種防水層保護用上塗材塗替え用下塗材
 【適用下地】○各種シート防水(加硫ゴムシート、ゴムアスシート、砂付アスファルトシートなど)
 ○各種塗膜防水(ウレタン塗膜防水、ポリマーセメント系塗膜防水など)
 ○FRP防水
 *カラーゴムシート、タールウレタンへは塗装できません。
 *FRP防水層の塗替えの場合は「目粗し、アセトン拭き」を実施しプライマーの付着性を確認してください。
 【適同上塗り】HPToppAシリーズ・HPシリコントップP・クールトップセラシリーズ・水性ボウスイトップCOOLなど
 【商品体系】【荷姿】 水性アスファルトシーラー 16kg/3kg

■取扱い上の注意事項

- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- 容器から取り出す時に、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- 蒸気、臭いなどを吸い込んだ場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記の場所の保管は避けてください。
 雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- 捨てる時には、産業廃棄物として処分してください。
- 製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読みいただき正しく安全にご使用ください。特に引火及び有害の危険性がある製品は、十分注意し、安全対策を行ってください。
- 詳細な内容が必要なときには、安全データシート(SDS)をご参照ください。SDSは当社ホームページよりダウンロードしてください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX 059-397-6191
 研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎059-346-1116 FAX 059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
 大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
 九州支店 ☎092-938-0071

URL <https://www.suzukafine.co.jp/>



●このカタログに記載の商品の内容は、改良などのため予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。